

# 私学助成署名推進ニュース

全国私立学校教職員組合連合  
No.36 2019年2月6日(水)

## 新潟:20年ぶりに署名数増へ!! 県向け署名追加提出

1月31日新潟で県向け「知事宛要望署名」の追加提出を行いました。これで昨年の集約数を超えた署名数の県提出になります。前年数を超えた事は、私学の学費負担改善への質実な願いとして県に届けられます。この粘りを全国でも広げましょう

### にいがた私学助成すすめる会ニュース

子どもたちが学費を心配せず、学校で学べるように、私学の学費も無償に!

2019年2月1日

新潟県私学の公費助成をすすめる会  
新潟市中央区弁天橋通1-13-13  
TEL 025-286-7630

越年の粘りが  
県内私学に通う  
高校生・父母の要求の  
切実さを訴える

# 県知事あて署名追加提出 昨年の集約数超え95,105筆に



県大学・私学振興課の橋島係長(左)に県知事あて署名の追加分を渡し、来年度県予算で私学助成予算の増額を要望した「すすめる会」の本田副会長。(県庁内)

県私学の公費助成をすすめる会の本田副会長(私学父母の会会長)と渡辺利宏事務局長は一月三十一日、県大学・私学振興課を訪れ、県知事あての要望署名の追加分五百七十七筆を提出しました。提出に際し本田副会長は、昨年の署名数を超えたことを伝え、署名に託された父母・生徒・教職員らの願いを受け止め、私学助成予算が増額となるよう求めました。

署名数は、昨年十二月二十五日提出分の九万四千五百八十八筆と合わせて九万五千五百五筆となり、昨年の集約数九万四千七百九十筆を三百五筆上まわりました。一九九九年以降、署名数の減少が続いていましたが、わずがですがようやく前年実績数を超えました。

国会あて署名の提出は、今月十四日に行われ、国会あて署名は、提出日ギリギリまで引き続きとりくみます。

34号既報のように、新潟の県知事提出は昨年12/25。しかし、国向け提出が2月14日である事をテコに、その後も国向けとともに県向け署名の取り組みを継続し、ついに前年集約数を超える集約数を達成。それを1月31日に追加提出しました。この粘り強い取り組みは、県民の学費負担解消要求の切実さの現れとして、県知事には映るはずで

学費負担軽減  
についての切実な  
相談に応えた  
学費ホットライン

就学支援制度の周知についても、県すすめる会として県へ要望を繰り返してきました。しかし、要求するだけでなく、「すすめる会」「父母の会」としても「学費ホットライン」に2回取り組んでいます。

## 高校受験生の父母を対象に 二回目の学費ホットラインを開設

一月二十七日、「すすめる会」と「私学父母の会」は昨年十一月に続き、今年度二回目の「学費ホットライン」を開設しました。開設にあたっては、新潟市・長岡市・新発田市・上越市の全中学校に加え、今回初めて私立高校通学者が比較的多い三条市・燕市・五泉市・小千谷市の全中学校にも案内チラシを送付しました。また、マスコミ各社にも事前告知を依頼し、新潟日報が開設日当日の朝刊で告知記事を掲載しました。

県内私立高校入試が一月二十二日と二十三日に行われたこともあり、私立高校に合格した子どもたちの親御さんから国・県の学費支援制度の内容について教えて欲しいとの声が多くを占めました。

相談には、私教連から事務職員や中執役員、父母の会役員が応じました。

18 紹介議員  
高知、熊本、  
青森、茨城から  
報告が届き  
2/6 18:00 現在  
18 都道府県  
114名へ

## 国会あて署名提出は 2月14日(木)

国あては、まだ間に合います。  
引き続きとりくみをお願いします。

### 【国会あて署名の紹介議員一覧】

※2月1日現在、国会あて署名の紹介議員を引き受けていた  
だいたの地元選出国會議員の皆さんは、以下の方々です。  
(敬称略 順不同)

#### ■衆議院議員

石崎徹(自民)・斎藤洋明(自民)・泉田裕彦(自民)  
西村智奈美(立憲)・菊田真紀子(立憲)  
太田昌孝(公明)  
藤野保史(共産)  
黒岩宇洋(無所属)

#### ■参議院議員

風間直樹(立憲)  
森ゆうこ(国民)